

## 入学おめでとう

# 学生、このかけがえのない時代



商学部長

さかいしろうさぶろう  
酒井正三郎

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生生活にむけて、みなさんの胸は期待感と心地よい緊張感に包まれていることと思います。

社会に出る前の最後の学府である大学の四年間は、みなさんのその後の人生にとって大変大きな意味を持っています。四年間を人生のキャリア・デザインの時期と位置づけ、資格試験に邁進する人、また将来の起業家を目ざしその分野の勉学と準備に打ち込む人など、その送り方はさまざまでありえます。

こうした中で近年、「学生なんだからしようがない」という意識から脱却し、大人と同じ土俵で評価されたいと、学生という枠を越えてビジネス活動やNGO、国際ボランティアなどの分野で活躍する諸君が目立ってきています。まさに「脱・学生」の、その心意気やよし、という

ところですよ。

そのことを評価しつつも、同時に学生という、人生の中で本当にかかけがえのないこの“ひと時”に想いを致し、この時代にしかなしえないことにチャレンジする努力も忘れないでほしい、と思います。大学に入るための受験競争、大学卒業後にひかえるビジネス界での競争、この二つの「競争」のはざ間にあって、大学の四年間は人生でほとんど唯一の競争とは無縁の（少なくともそうであることが可能な）貴重な時代です。

責任感や倫理観、論理的思考力や判断力、かかる人間形成にとって重要な広く豊かな教養の獲得は、読書や思索に思う存分時間を費やせる「学生時代」にこそよくなし得るものです。一人ひとりのみなさんが、この中央大学において、悔いの残らない豊かな学生生活を送られるよう期待してやみません。